

令和3年度 飯綱町総合教育会議 会議録

日 時：令和4年2月22日（火） 午後3時26分から午後4時36分まで

場 所：飯綱町役場 第2庁舎2階 第1会議室

出席者：町長、教育長、教育委員3名（欠席者：教育委員1名）

事務局出席者：教育次長、教育委員会係長3名、総務課長、総務係担当1名

1. 開 会

2. 町長あいさつ

日頃、教育行政に関して素晴らしい教育を展開していただいて、心から感謝を申し上げます。町村長会議で各首長さんが県への要望をする機会があるのですが、意外と各町村長さんは教育に対しての要望や苦情等が非常に多いのでびっくりしております。そういう点では飯綱町が恵まれている点かなというふうに思いました。教育というのは、私は飯綱町の宝の一つだというふうに思っております。その意味で総合教育委員会議というのはあの法律改正によって設置をこう義務付けられていますが、本当にいい意味で行政と教育行政と一体化してマッチしたものを育てていくために非常に必要で、なおかつ有意義なものにしていかなきゃいけないなというふうに思っています。まあ今日はわずかな時間ですけど、そんな会議になれば幸いに存じておりますけど、本当にありがとうございます。

3. 教育長あいさつ

本日は総合教育会議を開催いただきましてありがとうございます。今日は飯田委員さんが初めての参加ということでございます。それから吉澤委員さんが欠席されていますのでご承知ください。町長さんからもお話がありましたように総合教育会議は新しい教育委員会、新教育長の制度が変わった時に新しくできたものですが、町と教育委員会がこう直接いろんなことを協議したり調整したりする本当に貴重な場です。ですから日頃の教育行政のことを町長さんに知っていただく本当に貴重な機会ですし、町長さんの教育に対するお考え、想いそういったものもお聞きできる本当に貴重な時間だと思いますので、今日は色々なことを話し合っ、今後の行政に活かさせていけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

4. 協議事項

（1）令和4年度 飯綱町教育委員会基本方針について

次 長：資料により説明

町 長：ありがとうございます。もう学校や幼児教育については、町の立場としては今までも施設整備であるとかハード的な事業等々についての関わり合いを持つというのは、学校や保育園の統廃合を含めて参画をしてきたつもりなのですが、現場についてはお任せをしてきています。これからも必要以上の介入というか深入りする必要はないというふうに考えていまして、恐縮ながら学校教育の基本的なものについてはぜひ教育委員会へ十分ご指導いただく中で運営をしていただきたいなというふうに思っております。ただ近年、いじめとか子どもが同級生を刺したとか頭を叩いたとか、度が過ぎたような、その警察が介入してくるような事件も起きていて、そういう事態に陥った

時の対応としては、やはり住民の説明会なりそういうところにはしっかり参画をして、今後こういう事件の起きないように町の立場として一体どういう政策をしていけばいいのかとか、そういう点については関わり合いを持つようになるのかなというふうに考えております。

また、全く違う話題になりますが、歴史ふれあい館のリニューアルという課題があります。4年度は改修に向けて調査設計というか構想を練るという予算を認めて計上しております。さりとて、そこで出てきた計画は投資効果も含め十分精査していくと申し上げています。そしてもう一方は、旧牟礼村に歴史ふれあい館があって、旧三水村にはアップルミュージアムということで、こういう施設をそれぞれ一つずつ持っているという点も深く考えた上での対応になっていくというふうに思っていますので、これを検討する委員会も設置していくでしょうけれども、大きな課題であろうなというふうに思っております。

それから、新型コロナウイルスにも関係しますけども、町の行政はDXというICTなりITなり、またAIを使ったそういう事務に相当移行していくというふうに考えております。もう令和4年度には、家にいてスマホ1つで自分の印鑑証明なり住民票を請求できて、お支払いも電子処理をして、後は郵送という形でちょっと2、3日の時間は要しますけども、もう役場に来ていただかなくても取れる。おそらく令和4年度の中盤あたりで可能になっていくだろうと思っています。これからはおそらく補助金の申請ですとかそういうものもこの様なシステムに変わっていくだろうし、学校教育の中でも、もうかなり新型コロナウイルス対策等で進んできましたけども、これ多分もう一歩二歩三歩というふうにこう進んでくるのではないかなと思っています。この設備投資や上手に運用する人材の確保、こういう問題が生じることは感じておりますけれど、4年度については今次長さんがおっしゃったとおりの中身で私どもも承認しておりますので是非進めていきたいと思っています。

いい機会ですので委員さんからもう一歩進んだようなご意見いただいても結構です。ご意見をお願いできればというふうに思います。

委員：殺傷事件という話が出ました。いじめについて私も現場にいたので感じていますが、いじめの基本というのは自己評価が低い子がなおさら低い子に対して満足するように働きかける。そういう現象だと思うのですよね。自己有用感が低い。親がそれでいいんだよっていうふうに言ってくれば、子どもの心が安定して、自分からもっと、というふうに動くのが原則なのですけれど。飯綱町の教育条件は非常に充実させていてどこの市町村にも負けないと思うのですけれども、ITとか技術的なものもおそらく町長さんができちゃうと思うんですよ。

子育てというか子育てとその心の安定、自己評価を高める、高めなくても、これでいいんだという、受け入れられているんだというところをね。そうするといじめもある程度少なくなってくる。そういう心のある部分を先生方、保護者、子どもたちに浸透させていくことが一つの柱になるのではないかなと常々思いますね。

町長：ありがとうございます。行政として、やはり子どもたちの色々な子育て支援策というのを打ち出してきていますけれども、どうも親の育てやすいような支援策、お金を出してあげるような支援策というのが中心になっていて、その本当の意味で地域と一体

となった地域が子どもを育て、そして親も自分の子どももそうだけど隣の子どもも同じように可愛いみたいなそういう行政をこの幼児期なり、子どもたちが大人になっていくまでの成長の間にやっていくのが行政なのかなというふう思います。それでその一部が学校教育なんだっていうような位置付けというのはどういうものですかね。

委員：学校教育、行政の前に家庭教育なんですよね。やっぱり少子化になっちゃって自分の子どもに期待かけちゃうっていう部分。昔は5人も6人も7人もいたから成長するだけで精一杯だったところが、今度はこうしろ、ああしろという様に舵まで取るようになって、それに答えられない子どもはどうしても色々な表現をしてくると思うんですよね。今のあなたでいいんだよっていうあの部分が、少しでも醸成されるような家庭教育を推進するっていうことが、これからの子育て、子育ての要かなっていうふうにいるんですよね。きめ細かな対応してくださっていることはすごくよくわかるんです。その前にある家庭教育をどう応援していくかっていうところですよ。

町長：ありがとうございます。いかがでしょうか。

委員：資料の中にもありますが、大事になるのはふるさとを愛する心を育てるということですね。昨日の新聞の学校給食のシンポジウムの中で町長さんが、非常に農業を大事にしているとおっしゃっていましたが、三水は農業でしたので用水のことをね、私も4年生ぐらいに習ったたんですよね。野田喜左衛門とかなんて今でも覚えていますが、今思えば、ああいうものはね、実際体験するってことね。何を言いたいかという、ご存知のように和辻哲郎さんの風土ということですよ。あれってとてつもなく意味があるんですよ。要するに大地に生きるということ。風土なんですよ。大地をみんな大事にしてきたという姿ですね。ほっとくとみんな勉強してどこに行ってもいいなんて言い出すと思う。それでは勉強は何が大切かということですが、風土に関する大地の勉強。町長さんがおっしゃられるとおり農業となればね、もう風土ですよ。もう大地です。それが心の教育っていうことになります。

委員：回覧板のコミュニティスクールで子ども安全見守り隊を募集というのが出ていましたが、すごくいいなっていうふうに思います。子どもがそこら辺の農作業している方と「お帰り」とか「おはよう」とかっていうのがね。私はほとんど近所の人顔をよく分からなかったりしたんですけれど、子どもの方があそこは誰々のおじいちゃんだというように地元の人を知っているっていう状態ですからね。やっぱり声かけていると子どももちゃんと挨拶返してくれますしね。そういうのはいいなと思います。ただ、中学生になるとみんな親が送り迎えしていますよね。まあ部活があるせいなのかもしれないのですが、中学校の駐車場に行くと沢山の車があって、今の中学生はもう歩いて通わないのかなってちょっと気にはなりますけれど。見守り隊については回覧板では見ない方もいらっしゃいますので広報とかでもそういう情報提供をしていただければと思います。

町長：中学校については送り迎えの車が多いということはお聞きしています。その話をもっと深くやりたいのは山々なんですけど、2番へ移らせていただきます。

(2) 新型コロナウイルス対策について

次 長：資料により説明

ワクチン接種の関係は、教職員3回目のワクチン接種は2月から3月にかけて優先的に接種を行えるということで学校毎に取りまとめて申し込みをして今週末から接種の方を行えるようになっております。あと保育園、児童クラブ、学校給食、子育て支援センターにつきましても、100名を超える数になりますけれど、3月の頭に接種を優先的に行っていただけるということで今予定をしております。現在の状況は以上です。もし対策についてあれば係長の方からお願いします。

こども保育係長：保育園ですが、毎日健康観察管理シートを出していただいていたのですが、1番最初のところはお子様には症状がなかったのですけれども、家族に症状があり、それでも保育園に出していたというところからでした。安全な保育園の運営のために改めて家族の健康状態も見ていただき出していただくというお願いをしています。

総務課長：本日も町の本部会議の開催をしております。3月6日までまん蔓延防止の重点措置が延長になったというようなことで本日開催をしたわけでございます。今回のオミクロン株ですけれども当町では1月18日に一例目が出まして、2月21日までに99名とかなり多くの陽性者が発生しているという状況でございます。2年近く新型コロナウイルスの関係が続いておりますけれども今まで134例の陽性者が発生しているという状況でございます。今日の本部会議の中では公共施設も引き続き利用休止するというところで対応しているところでございます。また、町のイベントや行事は大きなものは軒並み中止や延期という対応をさせていただいております。それから、無線放送等で毎日のように注意喚起もさせていただきまして、感染拡大防止の取り組みをしているところでございます。また、飲食店ですが県の要請により時間短縮にご協力をいただいているという状況でございます。町の支援については、国の新型コロナの臨時特別交付金を使って福祉施設、学校や保育園関係の感染予防の対策に利用しておりますし、事業者、農業者への経済的な支援も実施してきているところでございます。それから、ワクチンの話でございますけれども、2月10日より高齢者から順次3回目のワクチン接種を開始しております、65歳以上の方が3月の中旬ぐらいには3回目のワクチン希望される方は終了するという予定で進めているところでございます。また、県の接種会場ということで町民会館において3月10日から13日の間に県が集中的にやっていたというふうなことになりました。ワクチン接種も進むのではないかと考えております。報告ということで申し上げさせていただきました。よろしく願いいたします。

町 長：どうもありがとうございました。今話もありましたけども本当に3月10日から、4日間、県で一切切お医者さんから看護師さんから皆連れてきてくれて町は会場だけ提供ということで、会場設置ができましたので、そこで65歳以上の皆さまはカバーできますし、64歳以下の方等についても6ヶ月を経過した人については多分3月末くらいで、大勢の人たちが3回目の接種を終了できるとだろうと思っておりますけれど、そうするとある程度静かになってくれるかなあと、そんな思いもしています。そんな状況でございますが、何かこの件についてご質問やご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

委員：今日もニュースでやっていましたが、イギリスでは3回目が終わって4回目になってきた。だからもうインフルエンザと同じようにするって言っていましたよね。日本は3回目が遅れているからね、これが終わればなんとかね。

町長：入学式はどういうふうにやるのかっていうのは決まっていますか。

教育長：一応、縮小した形で、ただ、在校生をどういう扱いにするのかっていうのは学校ごとに大体3段階ぐらいで考えてやっています。

町長：去年は三水小と牟礼小で違いましたね、子どもの参加。

教育長：在校生の参加の仕方とかですね。実際にはどういうふうになるかっていうその在校生とか保護者の参加人数がありますが、申し訳ないですけど来賓の方は町長さんと町の代表と議会の代表の方だけってことで、多分そういうふうに入學式も卒業式もなると思います。

町長：ちょうどお約束の1時間ほどを経過したわけでございますけども、あのいろいろ含めてその他で何かございましたらお願いしたいと思いますが。

～意見なし～

町長：よくなったらもう1回総合教育会議をやりたいですね。

教育長：来年度は1年かけて第2次の教育大綱を策定してなければいけませんので、多分、総合教育会議は回数が増えると思いますが、よろしく申し上げます。

町長：色々ありがとうございました。これが最後の会議じゃないのでこれからは是非いろんな意味で行政全般にわたっても皆さんのご意見も頂戴したいというふうに思っていますが、以上で協議事項を終了したいと思います。

5. 開 会